

	【JTA公式トーナメント競技関連規則】
138 157	25 メディカルルール(ケガ,病気にするルール) 1 大会出場とメディカルチェック
159	<p>トーナメントに出場しようとするプレーヤーは、試合開始時プレー可能な健康状態であることが求められる。</p> <p>①プレーできない健康状態である場合は申告が必要(メディカルチェック)</p> <p>②ドクター,トレーナーがいない大会は自己判断(レフェリーに申告し出場可否を確認)</p> <p>③申告違反はJTT大会に限り「コード違反,メディカルチェック違反」が課される</p> <p>※メディカルチェック違反:「無断出場」</p> <p>※コード違反免除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その日の試合を完了 ・レフェリーがリタイアを認めた場合

	【コード オブ コンダクト(JTA公式大会共通)】
150	2) 服装と用具のコード
	<p>男子服装規定追記 (シャツ/セーター上着)</p> <p>コマーシャルロゴまたは製造者ロゴを39cm²以内の1パッチに2つまで付けられる</p> <p>2023改正 女子のレギンスのみの着用が可になった。</p> <p>※重ね着した時と単独で着用した時ではロゴの数・大きさが異なるので注意</p>

* ロゴ・広告表示物の表はITFの規定に基づく。着用してサイズが変わるものは、着用前のサイズで判断

	【コートオフィシャルの手引き】
207	<p>チェアアンパイアのつかない試合方法</p> <p>日本テニス協会推奨【セルフジャッジ5原則】 遵守</p> <p>※広島県テニス協会HP(審判委員会)で確認できます</p>
208 209	<p>1セルフジャッジの方法</p> <p>4).15) 誤ったコールを訂正した場合(クレーコートを除く)</p> <p>インだったボールを誤って「アウト・フォールト」とコール(ミスジャッジ)しても「グッド」に訂正(コレクション)</p> <p>・返球が正しく相手コートに入った →1回目故意ではない妨害としてポイントレット →2回目以降故意の妨害として失点</p> <p>・返球せずに止めた →失点</p> <p>※ミスジャッジの前に打たれたボールがウイニングショット,エース,返球がアウトした場合 →妨害が起こっていないので1回目でも失点</p> <p>ダブルスペアの判定が食い違っても「アウト,フォールト」をコールしたプレーヤー/チームが「グッド」に訂正した場合も同様の扱い</p>

	【コートオフィシャルの手引き】
213 214	<p>6 コートオフィシャルのコードオブコンダクト</p> <p>審判員の順守事項</p> <p>9 ソーシャルメディアの使用</p> <p>ソーシャルメディアの使用についてのコード(規定,規則)を追加</p>

この他にも、運営上の改正・文章の補足、削除などがあります。
詳しくは、2024ルールブックで確認してください。(改正された項目には、縦線があります)

大会に参加される選手の皆様は、各大会の実施要項が優先されます。
大会会場でインフォメーションを確認して下さい。

2024年度もルール・マナーを守り、フェアプレイ推進のご理解とご協力をお願いします。

JTA TENNIS RULE BOOK 2024

試合に参加される皆様、大会を運営される皆様へ主な改正点をお知らせします。

2024,5 更新

JTA公式トーナメント: 昨年より変更、追加されたルール, 諸規則, 規定 (抜粋)

RULE BOOK Page	2024年度に限るルールの移行措置
32	【ルール オブ テニス】 ●サービスのレット「ノーレットルール」 規則22aのサービスのレットを採用せず、サービスがネット, ストラップ, バンド触れたとしてもインプレーとする。

【セルフジャッジの試合】

Q & A ノーレットルールを採用している大会

レシーバーが間違えて「レット」をコール

そのサーブは打ち返され、正しいコートに入っている。

本来してはならないコールをしてしまったので、相手選手への妨害として「レット」をコールした選手は失点となります。

ただし

2024年度から新たにノーレットルールを採用する大会では、2024年度に限りルールの移行措置として以下のように扱われます。

	<ul style="list-style-type: none">・サーブを正しくコートに返球した場合は、そのポイントのやり直し。・返球したが正しいコートに入らなかった、またはサービスエースの場合は失点。・そのレットのコールは1回のミスジャッジとしてカウントされる。
--	--

資料 テニスQ&A